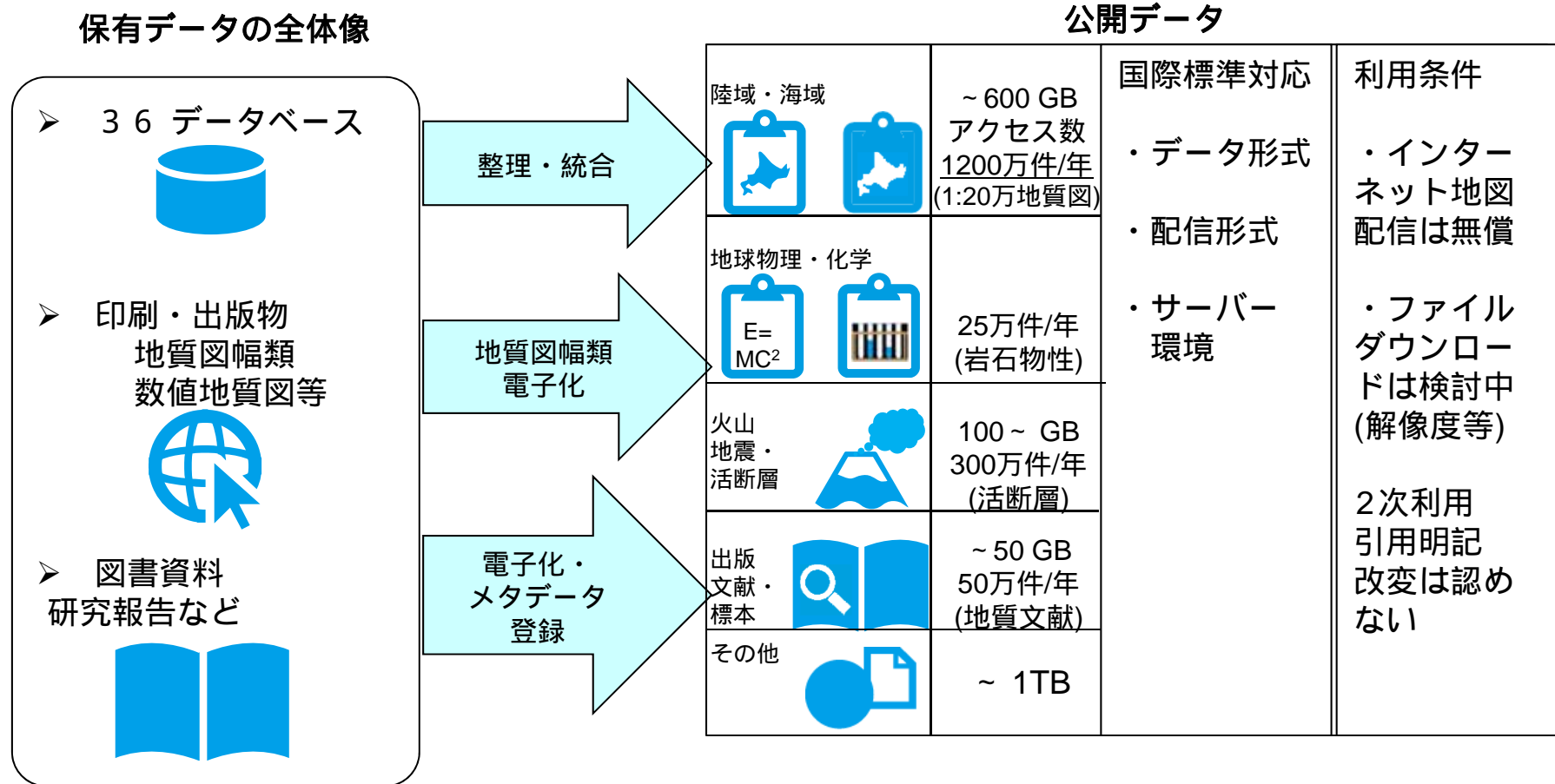


## 地質情報の提供について(データの棚卸)

地質情報の提供について、36のデータベースを中心に棚卸をしています。



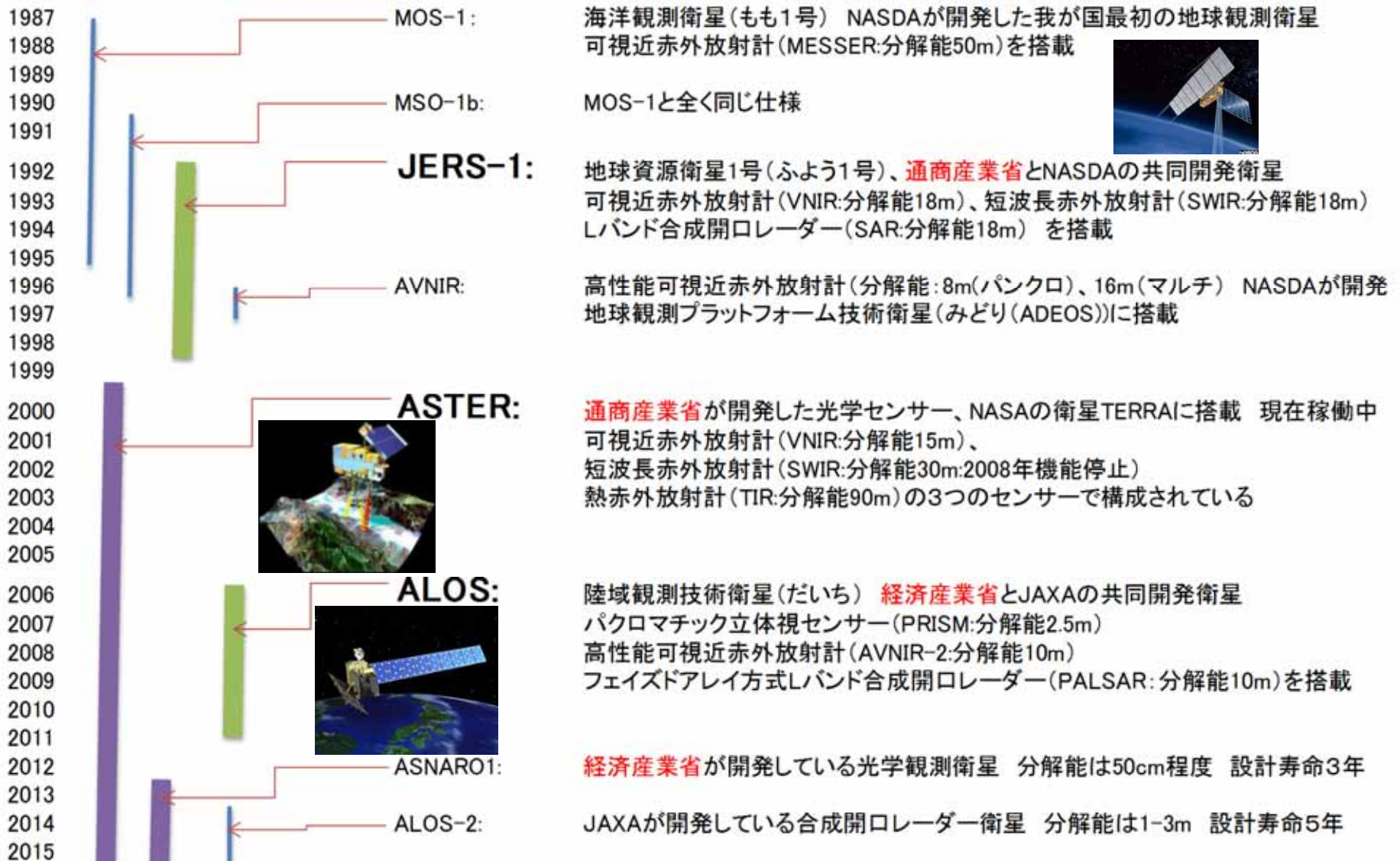
### 現行の課題

資源などナショナルセキュリティに関する情報の公開の在り方

有料頒布中のものが多いので有償・無償頒布の判断は国の方針をもって対応予定

# 衛星データの利用:我が国の地球観測衛星・センサー (民生、中・高分解能)

約30年間の観測

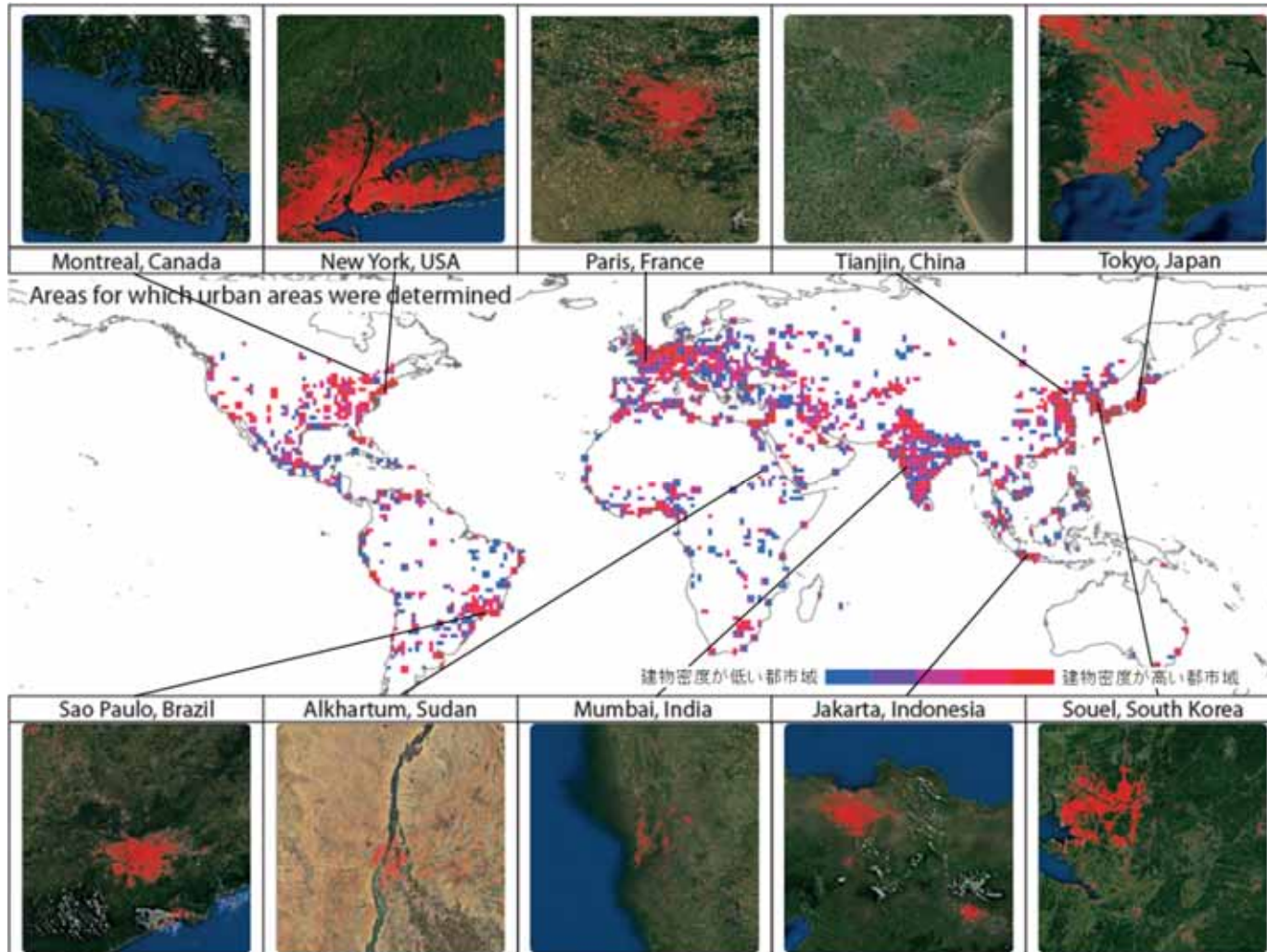


京大大学学際融合教育研究推進センター横田 副センター長提供

# 衛星データの利用：全球都市マップ

源泉データ：ASTERおよびPALSAR

利用可能分野：エネルギー需要予測、海面上昇脆弱性評価、洪水被害予測

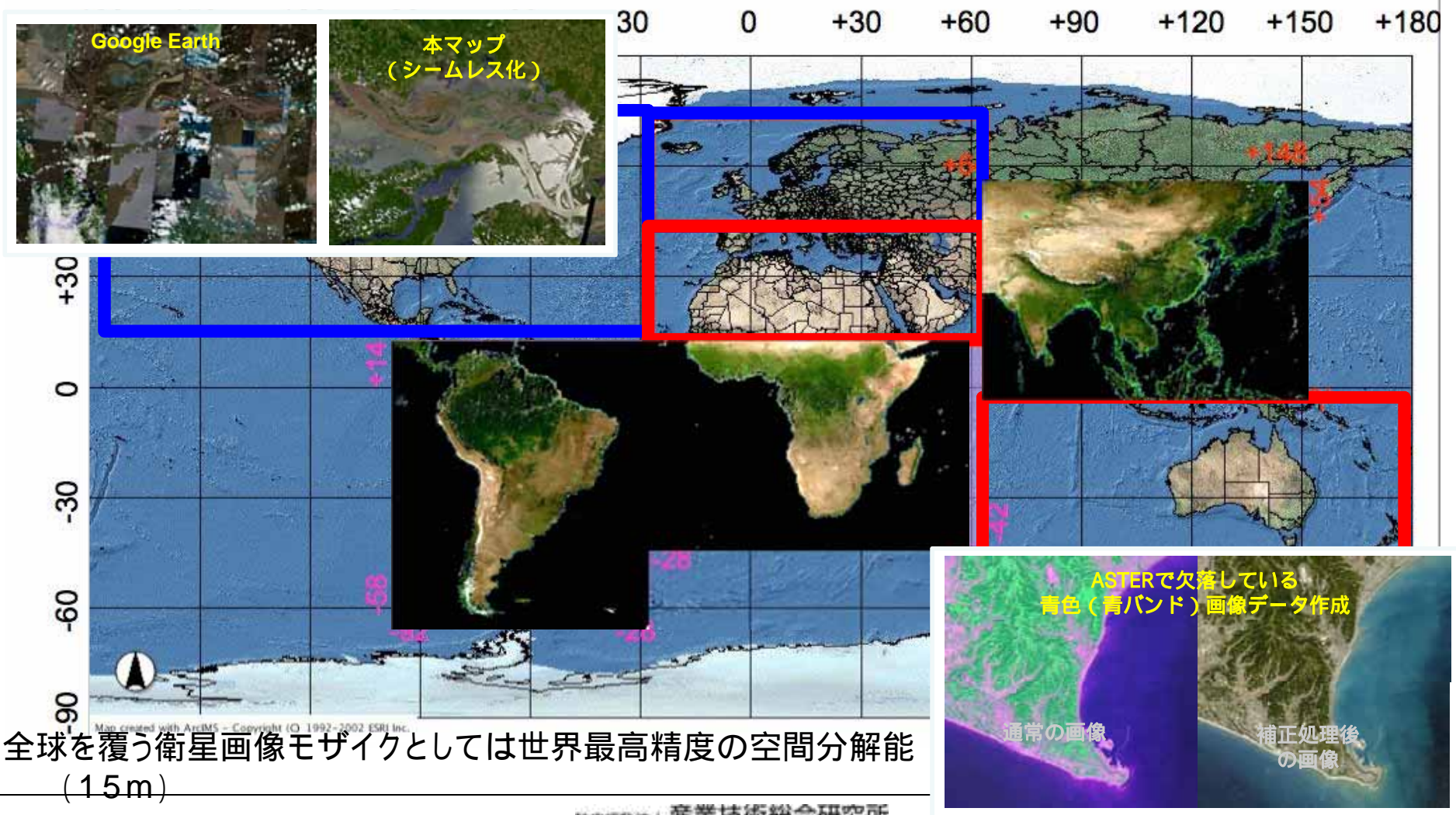


15m空間解像度の  
全球都市分布の整  
備(10万人以上の  
3372箇所を対象)

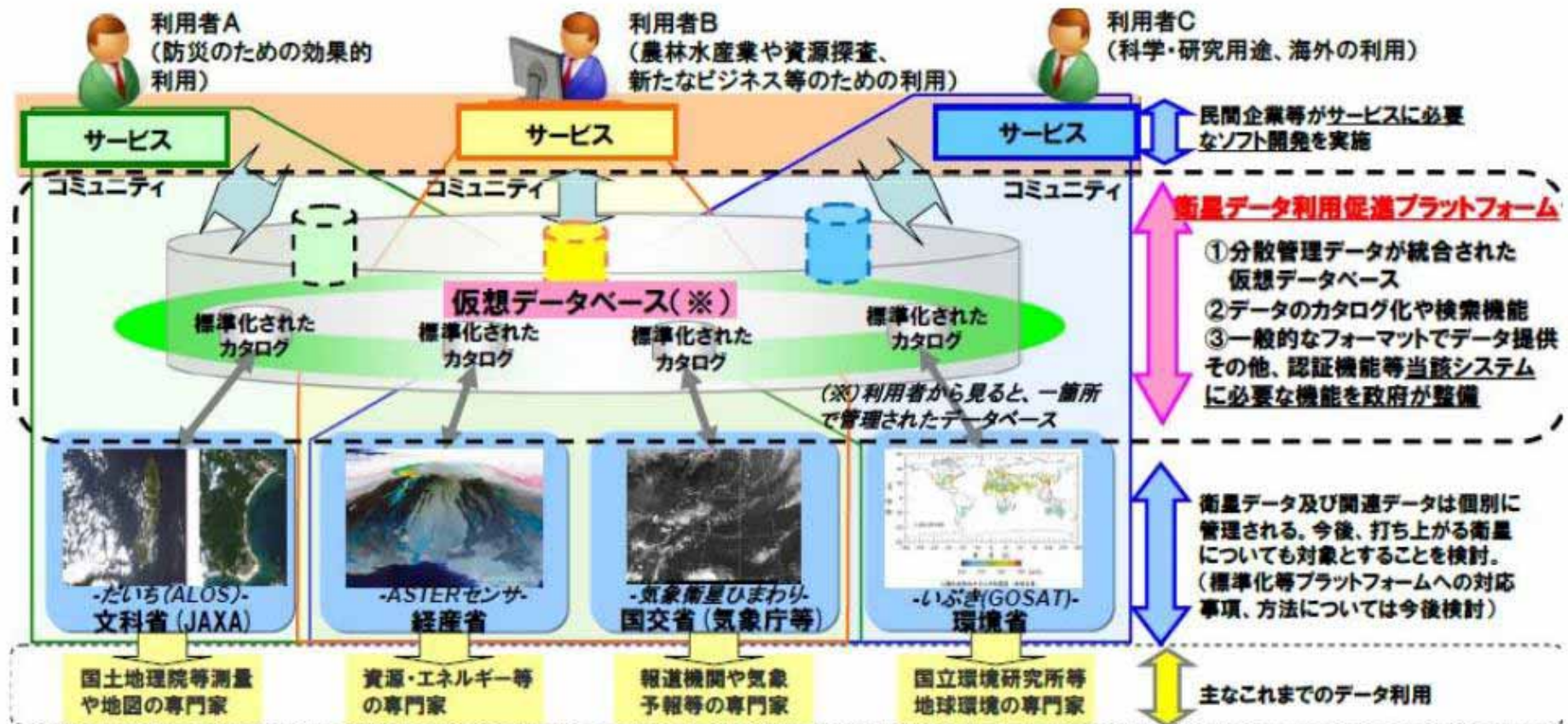
プロトタイプ版、地球  
観測に関する政府間  
会合を通じ全球地球  
観測システム  
(GEOSS)に提供中

# 衛星データの利用：全球シームレス天然色マップ

源泉データ：ASTER及びMODIS（MODIS情報を用いたASTER天然色化）  
 利用可能分野：WEBポータル等ベースマップ



# GEOGrid: 衛星データを統合的に提供するプラットフォーム



DATA METI構想実現に向け、現在、経済産業省と共に議論している主な論点を以下に示します。

視点	検討していること
ニーズ	地質調査による不動産の分析や、地域全体の安心安全設計など街づくりや建築に関するニーズ以外に、どのようなニーズがあるか。
ルール	<p>(共通) データ使用による瑕疵は利用者側に求める データの出典は明記し使用状況の確認を可能とする。</p> <p>(特記) 特段改ざんリスクへの対応が必要な場合は、電子認証透かしなどを個別に添付し、削除を認めない</p> <p>(要検討) 資源などのナショナル・セキュリティや、ハザードマップの一部などのデータ提供については、利用者登録などをした上で提供すべきではないか。 (米国地質調査所 (USGS) などの事例を参考)</p>
データフォーマット	地質情報構造規格(GeoSciML)などを用いたWeb標準で利用できるフォーマットを検討中。
その他	地質データには対応する調査報告書等が存在するため、品質の保証は、これを配布データと紐づけて出典明記と改ざん防止の下で対応。 地質データの網羅性を考慮すると、対象地域の他の情報(他の研究機関や、自治体など)のデータを組み合わせる必要があるのではないか。